

サワラ キャストイング HOW TO

最適なタックル選びとは？

その他あると便利な物も紹介！

サワラ用ルアー大公開！

使い方の解説、ワンポイントアドバイスも！

船長達からアドバイス

DUO契約プロスタッフ達からの
アドバイスは必見！

DUO International
NIPPON QUALITY

FREE

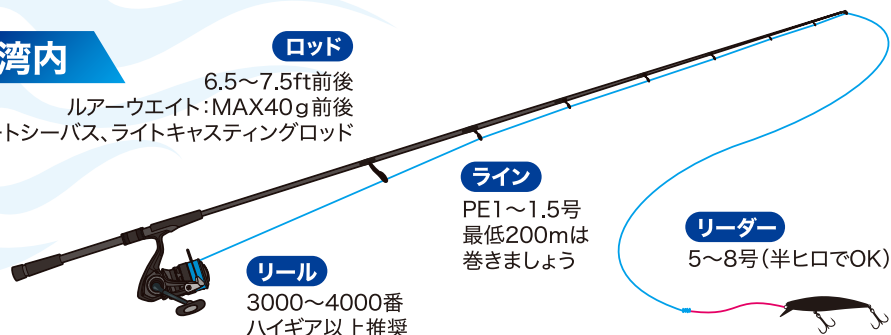
¥0

ご自由にお持ち帰り
ください

TACKLE タックル

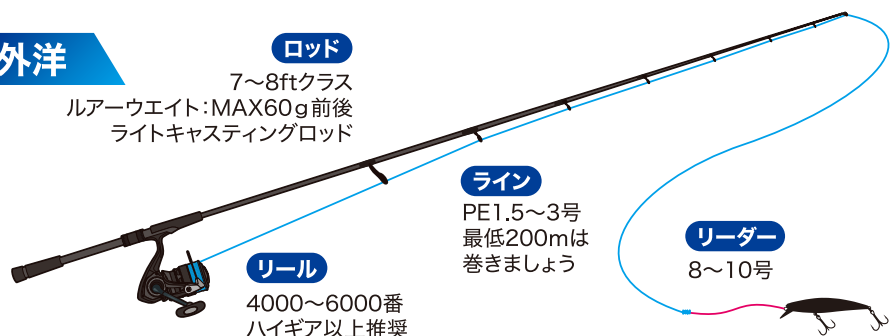
湾内

ロッド
6.5～7.5ft前後
ルアーウエイト:MAX40g前後
ボートシーバス、ライトキャスティングロッド



外洋

ロッド
7～8ftクラス
ルアーウエイト:MAX60g前後
ライトキャスティングロッド



その他あると便利な物

1 スプリットリングプライヤー (ロングノーズがオススメ)



2 偏光グラス



3 交換フック、 スプリットリング



4 予備ルアー



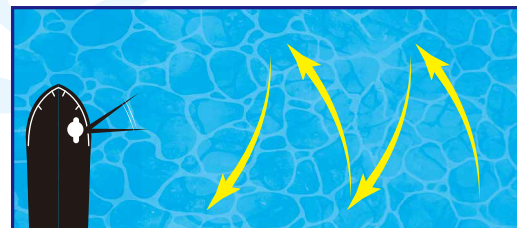
5 メラミンスポンジ、 泡立てネット (手の鱗取り用)



HOW TO FISH ルアーと釣り方

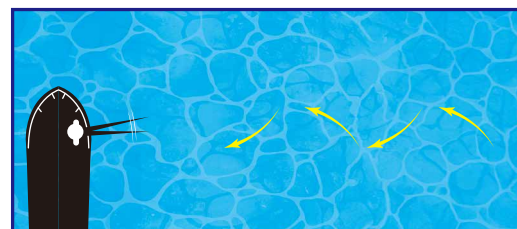
ジャーキング

ロッドをテンポよく煽って
ミノを左右にダートさせる!



ポイント①

ボイルやハネの無いブラインド時はロッドを強くしっかりと動かし左右ヘルアーがダートするようにする。大きくダートさせる事により広範囲に居るサワラに対してしっかりとアピールしバイトに繋がります。

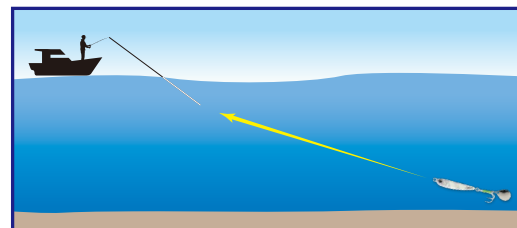


ポイント②

ボイルやハネがある状態ではダートの幅を抑えたジャークをしましょう。ベイトに狂っている状態なのでやや直線的な動きの方がバイトに繋がります。ただ巻きに軽いジャーキングを入れるのもお勧めです。

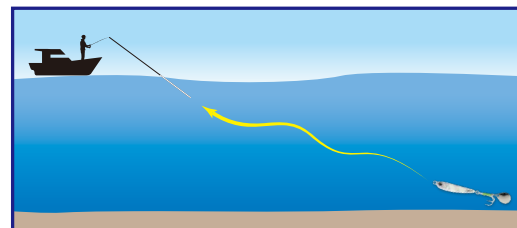
早巻き

キャスト後にとにかく早く巻く!
ロッドはなるべくブレないように!



ポイント①

基本はジグが着底後、すぐに早巻きをスタートし船際までしっかりと巻き続けましょう。竿先がブレしてしまう場合は脇に挟むとブレが軽減されますのでやってみましょう。



ポイント②

超高速巻きに反応しない場合は、巻きのスピードを徐々に遅くしていくのもお勧め! サワラの追いが悪いような状況では比較的ゆっくりとジグを巻いていてもヒットしてくるので試してみましょう。

ルアー紹介①

メタルジグ

Drag Metal Bletch

【ドラッグメタル ブレッチ】

フッキング向上!!
フックが回らない独立回転ブレード

高速域でも巻き抵抗を抑える低負荷設計により、長時間のリトリープでも軽快な操作感を維持。高速巻きでも破綻しにくい安定したスイムバランスと、立ち上がりに優れたブレードアクションがサワラへ強烈にアピールする。

フラッシングでアピールバイトを誘発!

ボディサイドのフラット面による強いフラッシングで、ターゲットに強烈アピール

VANFOOK
【ブレードワークスBGダブル】採用

フックは常に下向きのまま!

下から突き上げる様なバイトが多いサワラに対して、より確実なフッキングを重視した下向きセッティング

[30g] ■全長/55mm ■フック/ #2 [40g] ■全長/60mm ■フック/ #1
[50g] ■全長/65mm ■フック/ #1 [60g] ■全長/70mm ■フック/ #1/0
[80g] ■全長/77mm ■フック/ #1/0 [100g] ■全長/82mm ■フック/ #1/0

使い方

基本はただ巻きでOK! なるべく竿先がブレないように巻くようにしましょう。竿先がブレてしまうとジグが不安定となり不必要な動きが加わってしまうので気を付けよう。

ワンポイント

巻きのスピードは超高速巻きで反応しない場合は徐々にスピードを落とすのもお勧め! 意外とゆっくりな巻きで連続ヒットする事もあるため状況に応じてスピードを調整してみよう!

ルアー紹介②

ヘビーシンキング

ROUGH TRAIL SPEEDGE 90S

【ラフトレイル スペッジ90S】

【サワラ・サゴシ専用】
フラットサイドスリムシンキングミノー!

シーチャレンジャー矢野船長監修の新型シンキングミノーが登場。抵抗感の少ないスリムなボディでありながらもボディサイドにフラット面があることによりフラッシングによるアピールができます。早巻きに特化したボディバランスに仕上げているためラフコンディションでも安定したリトリープが可能。太軸大型フックを標準装備しているため不意なサワラや青物が来ても安心してやりとりができます。

■全長/90mm ■重量/26g
■タイプ/重心固定・シンキング
■フック/ #4 ■リング/ #3.5

ボディサイド面がフラット形状のため、フラッシング効果を最大限に引き出しサワラを誘い出す

高速巻きでも安定したスイム姿勢を実現したウエイトバランス

使い方

速巻きに特化した細身のシンキングミノータイプ。バイトサイズが小さくなかなか口を使わない状況にオススメ。基本リーリングは一定にしその日サワラが好むスピードを見つける様にしてみよう。速巻きから徐々に速度を落としていく方が良い。ポイル撃ちなどは軽くロッドアクションを入れることにより喰わせの間を作るもの◎!

ワンポイント

サワラのレンジが深い場合はキャスト後にしっかりと沈めブレードジグと同じような使い方もOK! メタルジグとは違いハイアピールができる為魚が薄い状況で効果的となる。水深が浅いエリアは着底からの速巻きも有効!

ルアー紹介③

ジャークベイト

REALIS

【レアリス ジャークベイト130S/160S SW】

JERKBAIT 130S/160S SW LIMITED

巻きに反応しないサワラを
誘い出すのに定評のSWリミテッド!

サワラの捕食スイッチを入れるジャークアクションを容易に演出。
扁平ボディが生み出す強烈なフラッシングで広範囲にアピールし、サワラを誘い出します。
ボイルや跳ねがない状況でも高い実績を誇り、各地で切り札として支持されるシークレットルアーです。



130S

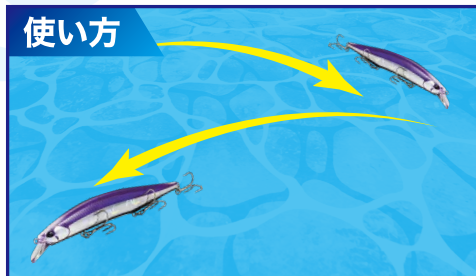
■130mm ■24.5g ■重心移動・シンキング
■フック/＃4 ■リング/＃3 ■レンジ/～2m



160S

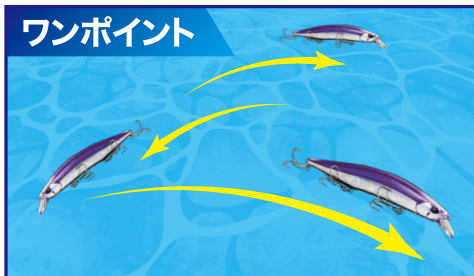
■160mm ■35g ■重心移動・シンキング
■フック/＃3 ■リング/＃3.5 ■レンジ/～1.5m

使い方



リズムカルなロッド操作をする事で、
左右ヘルアーがダートしバイトに繋がります。

ワンポイント



ロッドアクションの角度を途中で変える事によりルアーの軌道が変わり着いて来ても食い切らないサワラにスイッチを入れることが出来るのでやってみよう!

130S

あらゆる状況に対応可能

サワラ狙いに定番の130S。あらゆる状況で使うことが出来るパイロットルアーでナブラ～ブラインドゲームまでカバーできる。跳ねが無いようなブラインドゲームではカウントダウンレンジを入れてから誘うのもお勧め。

使い分け

160S

ブラインドゲームにおすすめ

サイズが大きいため発見されやすく魚を呼び込む力があるため特にブラインドゲームにお勧めしたい。大型のボイルが頻発している状況でもサイズが大きいためカットされるリスクが減るためキャッチ率はUPする。しっかりと動かすには強めのタックルを推奨。

ルアー紹介④

ジャークベイト

REALIS

【レアリス ジャークベイト100DRS SW】

JERKBAIT 100DRS SW

手付かずのレンジ、水深約2m
一枚下」を直撃攻略!

■100mm ■18g ■重心移動・シンキング
■フック/＃4 ■リング/フックアイ＃3 ■レンジ/0.5～4.0m

ジャークベイトらしく切れ味鋭いジャークはもちろん健在。
だが、真の武器はストレートリトリブの圧倒的な安定感。
広大なオープンエリアを、
ブレない飛行姿勢で隅々までサーチ可能。
さらにDeepモデルならではの急潜航で、
ストラクチャーに張り付く
“浮かないシーバス”にも直撃!

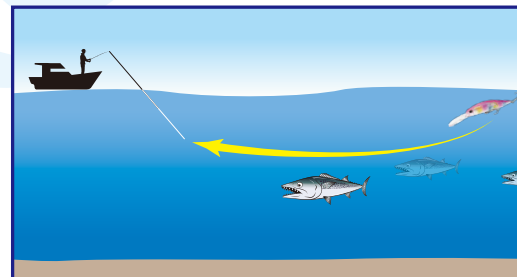


大型魚に耐えられる
壁厚と内部クロスメンバーフレーム

抜群の飛距離と安定したスイム姿勢を
生み出す為のタングステンウェイト

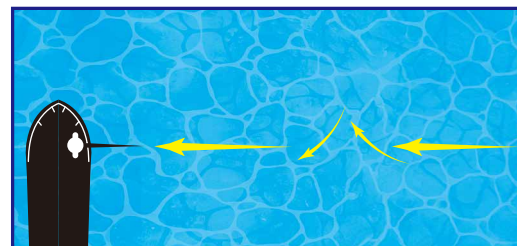
ベストな姿勢を保つ
ウェイト配置

使い方



浅いレンジに魚が浮き切らない場面にレンジがしっかりと入り一枚下のレンジを引いてくれる。
明らかに魚の居る層が深そうな場合はキャスト後にカウントダウンをすることにより深いレンジを探ることが出来る。

ワンポイント



ジャークキングよりも巻きに反応する場面に効果的で、巻きの中にやさしいジャークをしてあげるのもお勧め! 速巻きで口を使わない魚が反応してくることが多い!



Sea シーチャレンジャー
Challenger

矢野 広樹

主に伊勢湾奥における サワラキャストイング での使い分け。

ジャークベイト130ssw:朝イチ頭は上げないが気配がある場面にブラインドでのジャーキングに有効です。日中の潮目や漁礁、ブレイクライン等で回遊するサワラ狙いにもブラインドでのジャーキングにも効果大。メインは表層のジャーキングになりますがスピードの変化、ジャークの強弱でその日に合うジャーキングを探すとヒットに繋がります。

スベッジ90s:良く飛び固定重心なので立ち上がりも早く特にナブラ、ボイル等に非常に有効です。アゲインスト側で不意に沸いたボイルにも対応出来ます。ルアーテスト時にも魚探反応がある水深まで沈めてからの高速巻きにも大変効果的でした。

大佐丸

大佐



サワラに気づかせるなら、 迷わず160mmを使います！

大きめの160mmボディだからこそ出来るアピールがあります。ウネリがある様なラフコンディションでもしっかりと水と掴み波の下でサワラに気づかせる事が出来るので他のルアーで反応がない時こそサイズの大きな160Sの出番です！

サゴシナブラで敢えて160Sを使い周りにいるサワラサイズを何尾もキャッチした経験があります。やはり大きいサワラ狙いには160Sが有効になるのでは是非試してみてくださいね。

DUOプロスタッフ 船長達からアドバイス



DSKFGS

松本 大輔

岩国沖のミノー キャストイングでは、 ブラインドで狙うことも 少なくありません。

跳ねもない、ヒレだしもない、魚探には反応がある、そんな時には迷わずアリスジャークベイトSW160Sを投入します。160mmのサイズからくる存在感と水押し、強烈なフラッシングにより広範囲からサワラを呼び寄せることが出来ます。かなり強めのジャークでも破綻することがなく、ヒットした際の歯切れ防止でも最強です！

ALLRAID

中島 芳浩



時間帯や潮の色によって カラー選択が重要！

朝一・タマズメの薄暗い時はやはりシルエットが目立つ様なカラーのヒットが多いので派手なカラーやグローが入ったカラーがオススメ。日中でも潮が濁った状況でも派手なカラーは釣れるので試してみてください。クリアな水色の時はやはりシルバー系カラーが入ったカラーが有効となります。それとUVカラーは時間帯を問わず釣れるカラーとなるので必ず1色は持っていて欲しいですね！

すえり

須江 一樹



東京湾ではJB130S、 JB100DRS、ブレードジグと SLJ&フォースを使い分けます。

表層で跳ねやボイルなどが見える時はJB130Sのジャーキング。強めのジャークで誘い出します。JB130Sのレンジより一枚下を狙いたい時は100DRSの出番。タダ巻きでも十分なアピール力で、強いジャークというよりはゆるくゆるするようなジャークが100DRSは効果的です。表層に模様が出ない時はジグ系です。基本はブレードジグの早巻きで、 بلکه高速巻きをすることで狙い撃つことができます。